

まえがき

本書はいじめられている被害者の視点で、どうすればいじめを解決することができるのかを解説したものです。これまでの、大人がなんとかしなければといった論調ではなく、被害者本人が目的を達するための本です。ですから内容は生々しい現実主義に満ちており、身も蓋もない話ばかりです。ですがそれこそがこれまで多く語られてこなかった、いじめの解決に直結することなのです。もし本当にいじめの解決を望むならば、子どもに対する綺麗な幻想を捨て、現実を直視する実直な態度でお読みください。

この本は読者の年齢に関わらずいじめの被害者の視点で書きましたが、本人が幼かったりして本の読解が難しかったら、保護者や教師がまず本書を読み、その内容を教えることでより広範囲の被害者にこの解決方法が届いてほしいと思います。また、被害者がいじめを解決していくという基本的な姿勢はあるものの、周囲のサポートを否定しているわけではなく、むしろ解決方法をよく理解している協力者の存在は望ましいものなので、多くの心優しい方々に読んでいただけたらと思います。

とは言いつつ、本書の内容はこれまで普通に生きてきた方にとっては少し刺激が強すぎるかもしれません。そこでまずは、私の人生を物語形式でまとめた「テムジン物語」（第1章）から読んでみてください。これを読めばなぜこのような解決方法が生まれたのかの経緯がわかります。そうすれば本書の内容を受け入れる心の準備ができることでしょう。そのあとで、いじめに対する防衛術についてじっくりと解説していきます。